

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	電装整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年後期 ・ 木～金曜日 ・ 1時限～8時限		
時 限 数	9 1. 2時限（期末試験を除く）		
担当教員名	野尻 裕朗・川向 芳子・(他1名)		
実務経験	(有) ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる電流・電圧・抵抗の測定方法及び電装品の構造についての実習を実施する。		
授業の目的	自動車に使用されているスタータ・オルタネータの点検を習得する。 スタータ・オルタネータ・バッテリー・リレーの点検の理解。 自動車のヘッドライト・ウィンカーの電気回路を理解。		
テキスト	①実習テキスト（学校編集） ②三級自動車整備士（総合）（日本自動車整備振興会連合会 発行） ③二級自動車整備士（総合）（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	スタータ・モータ（直結式）	分解・組み立て・測定	①、②、③
第2回	スタータ・モータ（外接式）	分解・組み立て・測定	①、②、③
第3回	スタータ・モータ（内接式）	分解・組み立て・測定	①、②、③
第4回	オルタネータ（ファン内装式）	分解・組み立て・測定	①、②、③
第5回	オルタネータ（ファン外装式）	分解・組み立て・測定	①、②、③
第6回	ベンチエンジン	スタータ・モータ及びオルタネータ脱着 レポート提出	①、②、③
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第6回までの授業内容に関する実 技試験	別途課題
第7回	スタータ・モータ	単体点検（直結・外接式）	①、②、③
第8回	オルタネータ	単体点検（ファン内装・外装式）	①、②、③
第9回	バッテリー リレー	単体点検・測定・結線	①、②、③

第 10 回	ヘッドライト回路 ウインカー回路	回路を理解し、ボード上に 結線できるようにする。	①、②、③
第 11 回	ヘッドライト回路 ウインカー回路	回路を理解し、ボード上に 結線できるようにする。	①、②、③
第 12 回	まとめ	第 7 回～第 11 回の復習 レポート提出	①、②、③
	ステップ試験（中間試験）	第7回～第12回までの授業内容に関する 実技試験	別途課題
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する 実技試験	
到達目標	自動車に使用されているスタータ・オルタネータの測定・良否の判断を習得する。 スタータ・オルタネータ・バッテリー・リレーの点検の習得。 ヘッドライト・ウインカーの電気回路を自身で組むことができるようになる。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ス テップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点と する整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30％ 期末試験の点数 40％ 平常点 30％</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって 評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を 認定し、成績は60点＝可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50％を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		